

個人質問通告表

令和7年第1回始良市議会定例会（3月6日）

<p>9. 萩原 哲郎</p>	<p>1. 白銀坂トイレ設置・市内の観光対策について</p>	<p>白銀坂登山道は、始良市の脇元入り口から鹿児島市宮之浦町までの約2.7キロ、標高差390メートルの登山・観光コースである。</p> <p>現在、布引の滝周辺の整備が着々と進んでいる。整備が整えば、白銀坂登山道から布引の滝周辺の観光コースが拡大され観光人口も増大する。</p> <p>前回の回答では、鹿児島市はトイレ設置の考えはないとの事であったが、始良市にとっては必要性が高い。</p> <p>始良市から鹿児島市にトイレ設置の協力の案を出してみたらどうかと考える。</p> <p>また、県道から布引の滝周滝へ向かう道路は幅員が狭く対向車と離合がしがたい道路である。事故等の恐れが懸念される。</p> <p>駐車場・トイレ・道路整備等の考えを問う。</p>	<p>市長</p>
	<p>2. サボールランドパーク始良草刈り・整備について</p>	<p>サボールランドパーク始良、二回目のリニューアル工事・崩落場所の工事も終わり、ゴムマットの塗装工事を残すのみである。管理者の努力で草刈り・落ち葉等の清掃がきれいに管理され、利用者等は安心してウォーキング・ジョギング等に励んでいる。有難い事である。以下について問う。</p> <p>(1) 崩落場所の工事で崩落2カ所の間が道路の傷みが発生しているが、前回と同様な崩落の危険性がある。今後の処置を問う。</p> <p>(2) 展望台に向かう階段上の整地工事も終わり、綺麗に整備され喜ばしい。しかし、転落防止の柵の開きがあり侵入しやすく危険である。柵の改善を求む。</p> <p>以前から要望していた階段上段の手すり設置を問う。</p> <p>(3) 草スキー止めマットは傷みが酷く公園に</p>	<p>市長</p>

	<p>3. 花ももの里、管理道路整備とイノシシ駆除・整備について</p>	<p>は現状のままでは見苦しい。本年度中に撤去するとの事であったが残り2カ月余りである。撤去後の安全対策の処置を問う。</p> <p>(4) サボーランドパーク始良公園5段目の西通路から木材の通路階段上段、コンパネ仮補修箇所は、今年度補修するとの事であったが、どうなっているのか。</p> <p>(5) 高齢者にとって和式トイレは使いづらい。第1・3駐車場のトイレは、3～4年前に和式を洋式に替えているが、第2駐車場のトイレは和式のまま使いづらいとの要望が届いているが、洋式トイレに改修できないか問う。</p> <p>また、1・2・3の駐車場、トイレ入り口のコウモリ侵入柵は、今回、新しいネットで改善されたが左右の隙間が広く、コウモリが侵入しやすいため、意味をなさないと思うが、考えを問う。</p> <p>(6) サボーランドパーク始良入り口の玄関にあたる場所は、草刈りは限られた予算の中で検討し、維持管理に努め、本市も県と連携し対応を心がけていくとの方針であるが、ここ2年草刈りがなされていないため、サボーランドパーク始良入り口の立派な案内板磨き石も、雑草が茂り役目を果たしていない。</p> <p>今まで綺麗な花を咲かしていたつつじもカンネンカズラが巻き付き枯れかかっている。</p> <p>また、3～4年前に植えた幸せを運ぶ黄色い花が咲くイペーの木も15本のうち、5本ほどカンネンカズラが巻き付き枯れている。</p> <p>①何のために植栽されたのか疑問に思う。考えを問う。</p> <p>②現在、草も枯れ、火事や空き缶等のポイ捨てが懸念される。</p> <p>今後の対処を問う。</p> <p>花ももの鑑賞の季節が近づいてきている。サボーランドパーク始良西側にある、触田地区から花ももの里までの道路は、触田自治会のNPO法人山里まち整備が管理している。</p>	<p>市長</p>
--	--------------------------------------	--	-----------

	<p>4. 市内の川・海の鵜対策について</p>	<p>(1) 花ももの里からサボランドパーク始良への道路については、施設の管理に支障が無いように県が管理を行っているとの事であるが、ここ2年草刈りもされず道路に草が繁茂している。来場者が安全に花ももを鑑賞できるように今後の道路整備について問う。</p> <p>(2) 花ももの里への登り口、左側、田んぼの土手が、イノシシに荒らされ崩れかかっているが、補修は何処の管轄か。</p> <p>(3) 花ももの里上、以前崩落し補修整備を行った場所が、また、イノシシに荒らされ側溝が完全にふさがれている。毎年同じイノシシ被害にあっている。</p> <p>①イノシシ被害に合わないよう柵対策はできないか。</p> <p>②花の鑑賞の季節までに側溝の泥上げ作業はできないか。</p> <p>③以前崩落し補修整備を行った場所右上、コンクリートが見え崩落しそうだが今後の処置を問う。</p> <p>④その後のイノシシ駆除対策を問う。</p> <p>ここ数年、川・海に鵜の群れが多く見られ、魚の姿が見られなくなっている。6月になるとアユ漁の解禁が始まるが、ここ数年、漁獲も減っている。漁獲の回復を望む要望があるが鵜対策の考えを問う。</p> <p>また、12月31日の朝7時30分ごろ重富漁港に100～150羽、鵜の群れが現れ一斉に漁港入り口に飛び込み魚を取っていた。始良市近辺には魚がいなくなるのではと心配である。</p> <p>繁殖場所は何処か。</p> <p>鵜の繁殖は始良市だけなのか、他の市町村の現状はどうか。</p>	<p>市長</p>
<p>10. 馬場 修二</p>	<p>1. 施政方針について</p>	<p>令和7年度施政方針の協働・自治の施策「市民参加型のまちづくり」を積極的に後押し</p>	<p>市長 教育長</p>

		<p>しとある。</p> <p>(1) 具体的にはどのようなことか。</p> <p>(2) 中山間地域における移住者に対する支援とは具体的に何か。</p> <p>(3) 移住者の目標をもって取り組むのか。</p>	
	2. 観光資源の活用について	<p>始良市の指定文化財は県下最多を有する。歴史と文化を重んじ保存は大事な事業ではあるが、スポーツを通じた交流人口・関係人口増を図っていく一方で、文化財等を活かした施策の計画はないか。</p>	市長 教育長
	3. 交通死亡事故ゼロへの取組	<p>本市は国道を始めとする道路整備も進み、大型ショッピングセンターも出来、県央の地理を活かしベッドタウンとして歩んできた。それに合わせるかのように、交通量も増え、また、昨今の燃料費の高騰に加え、健康志向もあり自転車の利用も増えている。</p> <p>本市内でも、交通事故・交通死亡事故は毎年発生している現状にある。交通事故をゼロにする事は、なかなか難しい事であるが、交通死亡事故ゼロは実現したいと考える。</p> <p>(1) 車の安全運転等に関する事は警察の管轄ではあるが、交通死亡事故ゼロを目指すためには市民意識の向上に向け行政からの強い啓発や指導も必要と考えるが現状の取組はどのように行っているか。</p> <p>①安全運転の啓発 ②歩行者の横断方法等の啓発 ③自転車事故防止の啓発 ④小中学生・高校生への安全指導 ⑤商工会を核として、市内企業への呼びかけや交通安全に関する取組</p> <p>(2) 本年度行われた「まもるフェスタ」での交通安全、交通災害に関する成果を示せ。</p>	市長 教育長
11. 大坪 祐輔	1. ハラスメントについて	<p>昨今、各種ハラスメントが問題となっており本市でもハラスメント研修を実施しているのは</p>	市長 教育長

	<p>2. 子どもの夜間保育について</p>	<p>承知している。ハラスメントは双方元々の人間関係やその背景が異なるため一概に定義できない部分があると思う。</p> <p>その中でもカスタマーハラスメントについては一方的なもので、受けた側の心労ははかりしれないと思う。</p> <p>そこで以下について問う。</p> <p>(1) 本市ではどのようなカスタマーハラスメントがあるのか問う。</p> <p>(2) カスタマーハラスメントが一番多い部署はどこか問う。</p> <p>(3) カスタマーハラスメントが発生した場合の対処方法を問う。</p> <p>(4) 教育現場でのカスタマーハラスメントはどの様なものが発生しているのか。またそれを把握しているか問う。</p> <p>本市は他市に比べ、子育て世帯の増加が著しい。</p> <p>昨年度、「ちるどん」がオープンし子育て世代に寄与する部分も見受けられるが、多様な働き方や多様なライフスタイルに対応していく施策が不足していると思う。</p> <p>大きな柱としてある「子育てしやすいまちへの成長」を掲げている中で、夜間就労世帯、核家族世帯、ひとり親世帯に対しての施策について以下を問う。</p> <p>(1) 本市に夜間保育が可能な保育所は存在するか問う。</p> <p>(2) 夜間保育を利用したいという要望はないか問う。</p> <p>(3) 夜間保育を実施する為の課題はなにか。</p> <p>(4) 本市には24時間稼働の事業所は何件あるのか問う。</p> <p>(5) 夜間に就業している人口及び世帯数を示せ。</p> <p>(6) 本市独自で夜間保育の開設及び補助を行う考えはないか問う。</p>	<p>市長 教育長</p>
--	------------------------	--	-------------------

<p>12. 湯元 秀誠</p>	<p>1. ラーケーションと県民の日等について</p>	<p>ラーケーションとは「ラーニング(learning)子どもの学びと、バケーション(vacation)保護者の休暇を掛け合わせた造語で、子どもと保護者等とともに、学校外での体験や学びを目的として休暇を取得することを指している。</p> <p>これは愛知県の大村秀章知事が2023年3月16日、保護者の休暇に合わせて、子どもも学校を休める、ラーケーションの日(校外学習の日)を全国で初めて創設された。</p> <p>登校しなくても欠席とならず、年3日まで取得可能で公立の小中高校に導入がなされている。</p> <p>(1) 県政や教育界から、ラーケーションへの関連情報を示されたことはあるか。</p> <p>(2) 愛知県は「あいちウィーク」期間中に、学校が「県民の日学校ホリデー」を1日指定し休業日としている。</p> <p>鹿児島は県民の日(7月14日)、家庭の日(毎月第3日曜日)を推奨している。</p> <p>家庭の日は、鹿児島県の旧鶴田町が発祥の地でありそれが全国へ広がったと言われる。</p> <p>その意義や具体的取組など、県民、始良市民の取組や、認知度は高いと言えるか。</p> <p>(3) 「ラーケーションの日」の導入は、保護者の有給休暇取得が期待され、「休み方改革」に繋がるメリットがあると言われる。始良市職員の有給の取得状況はどうか。又、活用の調査がなされたことがあるか。</p> <p>(4) 別府市は、「たびスタ」休暇と名付け、平日の家族旅行を推奨し、旅育の推進と平日や閑散期の観光需要シフトによる経済活性化の取組がなされている。</p> <p>これも休み方改革と言えるが、始良市の子育て世帯の就労、休暇の実態と動向を把握するなど、ラーケーションについての実施の可能性調査、研究を行う考えはないか。</p>	<p>市長 教育長</p>
------------------	-----------------------------	---	-------------------

	<p>2. 市職員の働き方改革と駐車場確保について</p>	<p>(1) 時差出勤について</p> <p>①現在、行政の一部で時差出勤を試行的に行っていると聞く。働き方改革の一環なのか。その課題と目的は何かを説明せよ。</p> <p>②現在、市職員の通勤状況は早出出勤の実態がある。</p> <p>本来、渋滞緩和策として早出通勤、時差出勤は行われる取組である。</p> <p>通勤に起きるストレスや育児・介護など家庭からの負荷が就労勤務の責務の負担となり離職・休職につながるケースもある。</p> <p>市の状況と、改善策に時差出勤の実例はあるか。</p> <p>③近年の新規就労者では公務員志向も多いことなどから、若い優秀な人材の確保や離職防止となる、ワーク・ライフ・バランス向上が見込める、時差出勤の取組は考えられないか。</p> <p>④市内の民間企業などの就労者の雇用条件などには、市職員の労働環境が、お手本でなければならない。</p> <p>生産性の向上につながる、若い世代が働く民間企業にも時差出勤の提言を進め、豊かな暮らしと、若者が住みやすいまちづくりの条件に、つなげられないか。</p> <p>(2) 市職員の駐車場確保について</p> <p>①市職員の時差・早出の出勤が、公設の駐車場の場所取りのための早出出勤の現実がそこにある。</p> <p>この状況は、まったく健康的とはいえず、ストレス症状の起因となる。</p> <p>合併協議会では、職員駐車場の協議事項での対策は、どのように話し合われていたか。</p> <p>また、市職員組合からの要望等の提出は出されていないのか。</p> <p>②今までの駐車場問題での答弁では、土地開発公社所有の西之妻事務所店舗用地で、対応できているとのことであった。この土地の用途に鑑み、今後、駐車場確保をほかに検討される考えがあるか。</p>	<p>市長 教育長</p>
--	-------------------------------	--	-------------------

		<p>③霧島市では公設駐車場を通勤2 km以上の職員に月額1,000円で貸与がなされている。</p> <p>本市も市役所近辺の民有地も含め調査と検討を行い必要な駐車場用地の確保に努めるべきである。</p> <p>考えを問う。</p>	
--	--	--	--